

## 1 令和元年度（2019年度） 学校要覧〔教育計画〕 特活部 重点目標と実践目標改定の必要性と考え方

改善が求められる基本的な考え

## 学校目標と具現化された教育目標 【不断の見直し】

- 1 知性を磨き、可能性を拓こう →基礎力、思考力、主体的学習能力
- 2 情感と品性を養い、人間性を深めよう→傾聴力、自己理解・自己管理能力、他者理解力
- 3 心と体を鍛え、逞しく生きよう →計画実行力、発進力、表現力、ストレスコントロール力
- 4 郷土を学び、世界を見つめよう →実践力

## 市函ディプロマ・ポリシー（市函DP） 【不断の見直し】

- ①基礎力 ②思考力 ③主体的学習力 ④傾聴力 ⑤自己理解・自己管理能力 ⑥他者理解力  
⑦計画実行力 ⑧発信・表現力 ⑨ストレスコントロール力 ⑩実践力

## 21世紀型能力（日本型資質・能力の枠組み） 【新たな視点】

基礎・試行・実践の観点で再構築

基礎力（道具や身体を使う） 言語スキル 数量スキル 情報スキル（デジタル 絵 形 音楽）

思考力（深く考える） 問題発見・解決 論理的・批判的・創造的思考 メタ認知 学び方の学び

実践力（未来を創る） 自律活動 関係形成 持続可能な社会づくり

## 新学習指導要領（特別活動）改定の基本的な方向性を踏まえた指導上の重要な視点 【改訂の趣旨】

人間関係形成 社会参画 自己実現（相互に関わり、明確に区別されるものではないことに留意）

（参考資料：平成30年8月文科省 国教教研教育課程センター 学校文化を創る特別活動（高校編））

## 2 平成31年度（2019年度） 学校要覧〔教育計画〕 特活部 重点目標と実践目標

## 1 重点目標

- (1) 市立函館高等学校ディプロマ・ポリシー（市函DP）を意識し、学校文化をより豊かに創造させるため、多様な他者と協働するホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の意義や各活動に必要なことについて理解を深め、適切に行動することができる能力の育成を図る。※（市函DP①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩）
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる態度を養う。※（特に市函DPの②④⑤⑥⑧）
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、郷土や世界への関心や生き方についての自覚も深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。  
※（特に市函DPの①③⑦⑧⑨⑩）

## 2 実践目標

## (1) ホームルーム活動

- ① 他分掌や各年次と連携を密にし、一人ひとりの生徒が自己有用感や自己肯定感を体得できるように指導を工夫するとともに、互いのよさや可能性を發揮してよりよい生活や望ましい人間関係を自主的に築くことができる能力を育成する。※（特に市函DPの④⑤⑥⑦⑩）
- ② ホームルームでの話し合いを生かし、自己の課題の解決及び将来の生き方、社会への参画意識など意思決定することができ、適切な行動を選択する能力を育成する。※（特に市函DPの①②③⑧⑩）

## (2) 生徒会活動

- ① 生徒会や各種委員会活動、部活動では、生徒が主体的に組織をつくり、異年齢により構成される民主的かつ自治的組織であることを自覚させ、役割を分担し、計画を立て、協力して運営する自主的、実践的な活動の展開を図る。  
※（特に市函DPの③⑤⑥⑦⑧⑨⑩）
- ② 会員には集団や社会の形成者として自覚させ、自他の良さや可能性を發揮しながら主体的に集団や社会の問題について理解を深め、合意形成を図ってその解決に取り組めるような態度の育成を図る。  
※（特に市函DPの①②③⑩）

## (3) 学校行事

- ① 学校行事を通し、集団や自己の生活上の課題と結びつけ、人間としての在り方生き方について考えさせ、よりよい生活の構築や適切な意志決定と行動を選択することができる能力の育成を図る。※（特に市函DPの②③④⑤）
- ② 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団生活の体得、責任感や連帯感、公共の精神の育成を図る。※（特に市函DPの①②③⑤⑥⑨）
- ③ 平素の学習活動の成果を活かし、向上心をより一層高め、運動や文化、芸術に親しむことができる態度や社会に積極的に参画する態度の育成を図る。※（特に市函DPの④⑤⑥⑦⑩）